

## 渋谷におけるエンタテインメントシティ特区の提案

---

# 渋谷の将来像：エンタテインメントシティとして、日本の多様な最先端文化を発信し、世界の人々を常に惹きつけるまち

クリコン・エンタメ施設が集積し、公共空間や大小様々な施設などの多様な場所でイベントやエンタメ機能が展開され、賑わいが溢れている

## 大規模イベント開催 - 観光客を誘引 -

カウントダウン 例) Times Square



パブリック・ビューイング



国際映画祭



## コンテンツイベント - クリエイティブコンテンツ産業を発信・成長 -

東京ガールズコレクション



ライブハウス 音楽発信



アニメイベント MEGCON



## エンタメ施設（劇場・ホール・スタジオ等）の集積

エンタメ施設集積 例) ブロードウェイ



小劇場



スタジオ ラジオ公開収録



## 世界への情報発信 - 先端の文化の発信 -

情報発信 (TED によるスクランブル交差点イメージ)



デジタルサイネージ



スマホと連動した多国籍街ガイド



TEDxTokyo HP 参照



# 現在の渋谷のポテンシャル

## 1. 勢いある IT 企業の集積

最先端の IT 企業が多く存在する

渋谷ヒカリエ  
多くの IT 企業入居



IT 企業



## 2. 先端ファッションの中心

ファッションイベントの開催・服飾関係の店舗立地

東京ガールズコレクション



キャットストリート



## 3. 豊かな住宅地に外国人が多く居住

渋谷の後背圏に住宅地が広がる・多くの大使館が存在

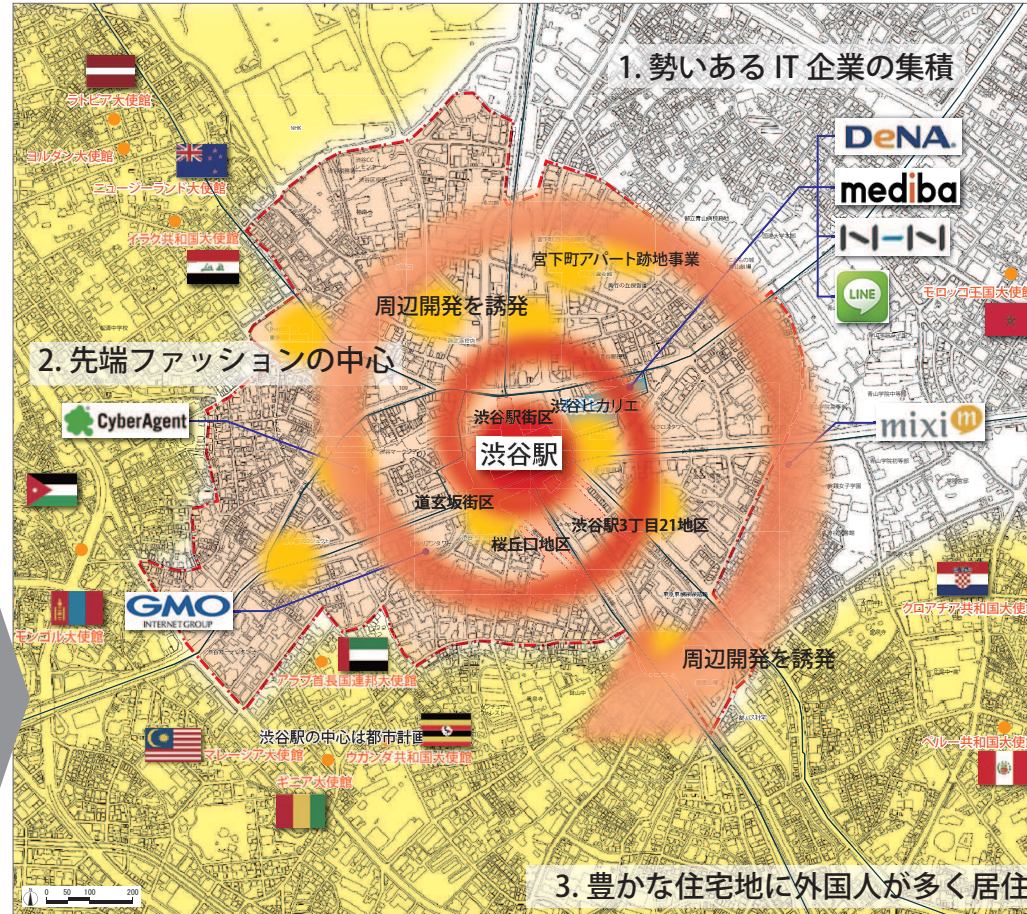
豊かな住宅地



外国人居住者



# 渦巻状の発展 今後中心から周辺へ開発や賑わいが波及



渋谷駅街区・道玄坂街区・ヒカリエ (都市計画決定済)



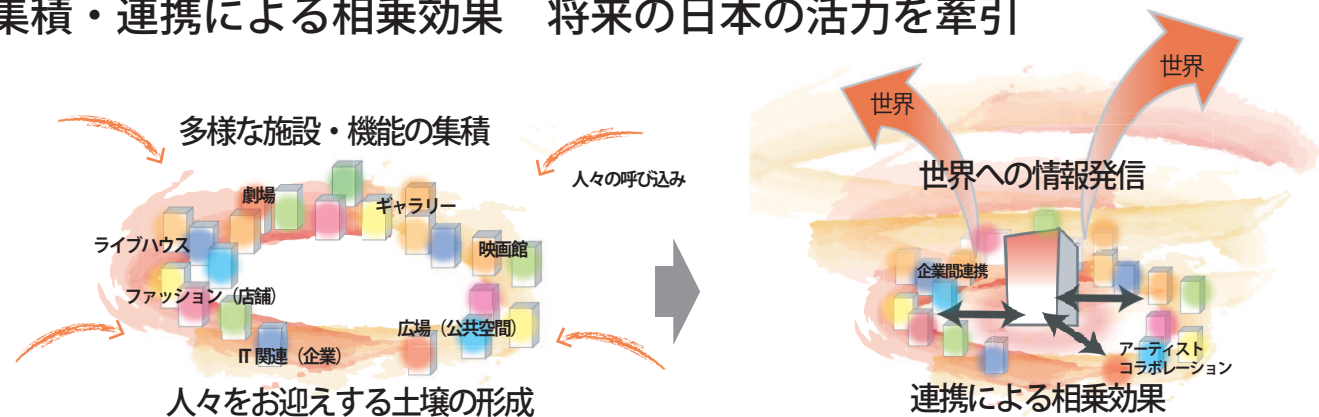
渋谷の将来イメージ



宮下町アパート跡地事業 (周辺開発)



# 集積・連携による相乗効果 将来の日本の活力を牽引

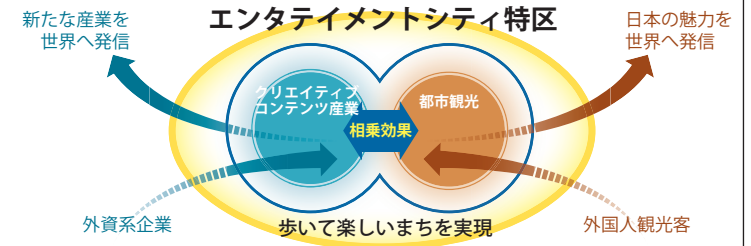




# 渋谷の特色を活かすエンタテインメントシティ特区を提案

**エンタテインメントシティ特区** エンタテインメントとは、訪れた人々を「おもてなし」の心で楽しませ、また来たくなるような気持ちにさせることが本質である

1. **エンタテインメントシティ特区**において、公民連携のまちの活性化プロジェクトにより、**都市観光、クリエイティブコンテンツ産業**の活性化に寄与。
2. 都市観光、クリエイティブコンテンツ産業が、相乗効果を生み出し、日本の**観光、産業を世界へ発信****オリンピック**と連携した整備を進め、日本の魅力・活力を世界へ発信。
3. 渋谷のまちの拡充には、**集積させ育成し、急成長**を促すことが重要である。そのために大胆な規制緩和を行う。



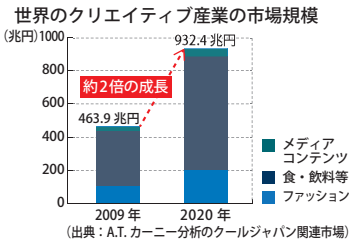
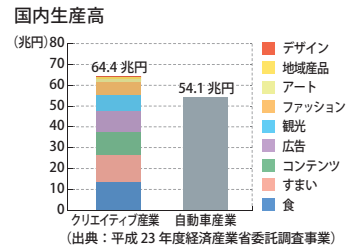
## エンタテインメントシティを支えるクリコン産業・都市観光資源を集積させ育成し、急成長させることで内外に文化発信を実現

### クリコン産業の首都渋谷

#### 1. クリコン産業は今後の日本成長に大きく寄与

- 近年日本のクリエイティブ産業については、国内生産高が自動車産業を超え、**64.4兆円**になる等大きく規模が拡大している。
- 世界のクリエイティブ産業の市場規模については2020年には、**932.4兆円**になるなど、現在の**約2倍**程度となることが予想される。

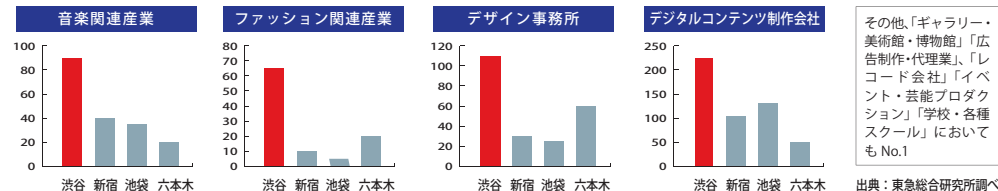
出典：クリエイティブ産業の現状と課題 経済産業省・商務情報政策局



- JAPAN EXPO** (世界でのクリコン産業に関するイベント開催) パリにおける日本の漫画や伝統文化、特に現代の日本文化を発信するイベント。現在は**ヨーロッパ最大の日本文化とエンターテインメントの祭典**となる。

#### 2. 渋谷には全国のクリコン産業の約15%の従業者が集積

- 多くの項目で渋谷のクリコン産業の事業所数が他の地域を、上回っており、第一位となる。



その他、「ギャラリー・美術館・博物館」「広告制作・代理業」「レコード会社」「イベント・芸能プロダクション」「学校・各種スクール」においてもNo.1

出典：東急総合研究所調べ

### 都市型観光のメッカ渋谷

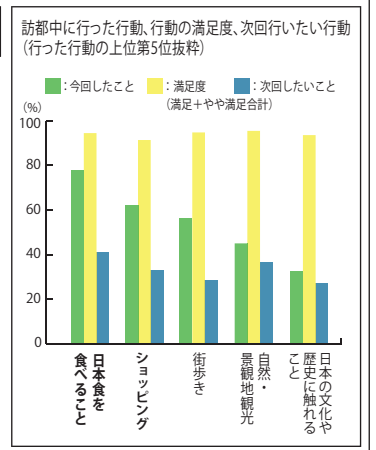
#### 1. 都市型観光の人気の拡大

- 訪日外国人の各地域の訪問率は新宿、丸の内、渋谷などの都市への割合が**75%**であり、近年都市型観光の人気の高い。
- 訪日中に行った行動では、飲食やショッピング、街歩きなど都心部で行うことが多く、また満足度も高い。
- 近年ショッピングの人気の高く**62.1%**の外国人が行っている。

都市：(渋谷・新宿等) 訪問率75.1% ⇔ 観光地：(富士山・遊園地等) 24.9%



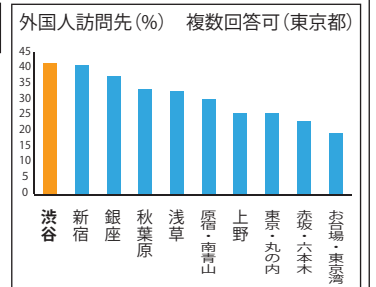
(出典：日本政府観光局 2010)



(出典：産業局平成24年度国別外国人旅行者行動特性調査)

#### 2. 渋谷の観光競争力

- 海外からの訪問先において、**渋谷は最も多く42.5%**である。
- 訪問して最も満足した場所については新宿について**第2位の8.6%**という高評価であった。(1位新宿11.0%・3位浅草8.5%)



(出典：産業局平成24年度国別外国人旅行者行動特性調査)



## クリコン産業・都市観光強化のための規制緩和項目

ポイント

緩和項目

1. 集積	2. 育成	3. 急成長
<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリコン、エンタメ施設の整備促進により、街中の更なる施設集積によるクリコン産業、観光の活性化を促す。</li> <li>②大型ビジョンの整備や公共空間のイベントスペースの整備により交流を拡大し、クリコン産業の集積効果を最大とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリコン産業関連企業の税制の優遇。更に税制優遇措置により賃料低下と連動するなど、起業を促進する基盤を形成。</li> <li>②クリコン、エンタメ施設を公共貢献として位置づけ、若手企業家やアーティストの受け皿を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海外のクリコン産業に関わる高度人材の在留を促すことで、渋谷の街の急成長を誘発する。</li> <li>②開発における手続きを簡略化し、街の整備を迅速に進めることで成長を促す。</li> <li>③クリコン産業関連企業の投資を呼び込む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリコン、エンタメ施設の容積緩和による施設の集積。 <small>※クリコン、エンタメ施設：クリエイティブコンテンツ産業やエンターテインメント機能に関連する施設：劇場・ホール・ミニシアター・スタジオ・企業間交流施設など</small></li> <li>②屋外広告物法における広告物の制限緩和による大型ビジョンを活かした景観形成。</li> <li>②道路法における道路占用の緩和により、積層したイベント広場整備。</li> <li>②道路交通法の緩和・組織運営の仕組みの整備によるイベント開催の促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリコン産業関連企業の、法人税等の減税。固定資産税の減免によりクリコン企業の賃料負担軽減と連動するなど、ベンチャービジネス等の起業を促進。</li> <li>②クリコン、エンタメ施設整備を都市計画における公共貢献への位置づけ、上記施設の増加。</li> <li>②クリコン、エンタメ施設への改修における（用途変更）確認申請の撤廃による上記施設の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリコン産業海外高度人材への在留・滞在に関するポイント制優遇による在留・永住の促進。 料理人・ファッション産業専門業務者の就労ビザの緩和。</li> <li>②借地借家法における正当事由の明記による開発の促進。</li> <li>③特別償却を認めることによる投資の呼び込み。</li> </ul>

### 規制緩和による創出効果

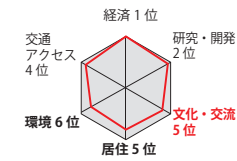
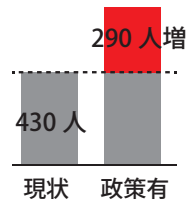
渋谷において約 **7500 億円**（全国の約 15%）  
 全国にて約 **5 兆円**のコンテンツ産業国内売上高増額（2010年-2020年）を目指す



# 日本再興戦略における成果目標（KPI）の達成に寄与

効果

クリエイティブコンテンツ産業		都市観光	
設備投資額	高度人材人数(外国人技術者)	海外からの観光客数	世界総合都市ランキング 文化・交流分野
<p>渋谷において約 3170 億円の設備投資（エンタテインメントエリア内全体）                      (3年後 7兆円の年間設備投資増を目標、3年間の増額は平均的な増加では、全国約10.5兆円となる。そのため渋谷において全国の設備投資増加分の目標の約3%を達成)</p> <p>関連基盤整備 約 830 億円                      駅中心の拠点開発建物整備 約 2050 億円                      周辺の拠点開発建物整備 約 200 億円                      周辺の建物更新 約 90 億円                      本施策による設備投資額合計 約 3170 億円</p>	<p>渋谷において約 290 名の外国人高度人材を確保                      (現在高度人材認定外国人全国約 430 人)</p> <p>本施策により渋谷の                      新規就業人口 2 万人増加                      高度人材外国人                      全体の約 1.8%                      →約 290 人 (クリコン産業)                      (現在の高度人材の約 1.7 倍)</p>	<p>渋谷の外国人観光客年間約 28 万人                      ずつ増加                      →2030 年全国約 3000 万人の外国人観光客</p> <p>2030 年全国目標 3000 万人                      (現在約 830 万人)                      →全国で毎年 120 万人の増加必要                      (2013 年 -2030 年)                      →本施策により渋谷で毎年 28 万人の増加                      (全国の約 23.3% が渋谷に来街想定)</p>	<p>海外からの訪問者数ランキング                      10 位⇒9 位                      ⇒総合順位 UP 想定                      (現在総合 4 位)</p> <p>東京分野別スコア (2011 年版)</p> <p>文化・交流ランキング低く                      ポイントアップが必要                      →海外からの訪問者数                      (文化・交流)                      →本施策により 10 位⇒9 位</p>



## 渋谷～二子玉川への効果の展開

一体的に産業活性を生み出すクリエイティブベルトの形成



## 渋谷～東京 23 区へ効果の展開

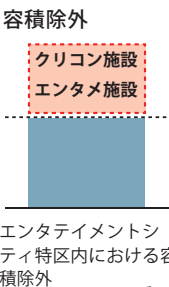
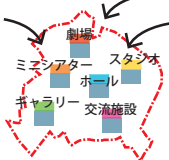




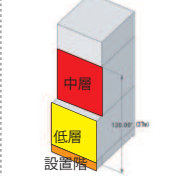
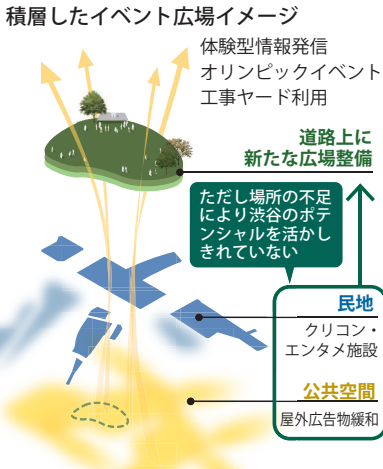
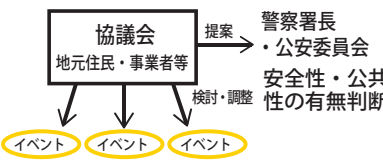

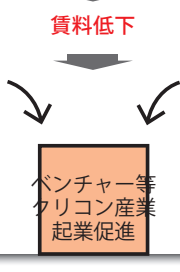
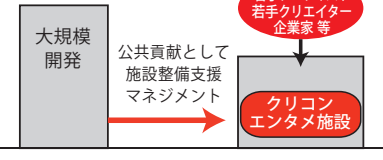


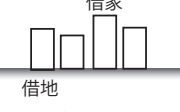




## 東京～日本の主要都市へ効果の展開





# 施策詳細

	1. 集積		2. 育成		3. 急成長					
目的	①クリコン、エンタメ施設の整備促進により、街中に更なる施設の集積	②大型ビジョンの整備や公共空間のイベントスペースの整備により交流を拡大し、クリコン産業の集積効果を最大とする	①起業を促す基盤を形成する	②若手企業家やアーティストの受け皿となる施設を整備	①海外のクリコン産業に関わる高度人材の在留を促し、渋谷の街の急成長を誘発する	②新たな開発の推進	③クリコン産業関連企業の投資を呼び込む			
課題	①容積の制限	②屋外広告物の制限	②道路における道路占用基準、安全基準などによる整備や使用の制限	①新規企業における税金の負担・高額な賃料	②施設整備の資金不足 改修時確認申請など手続きの煩雑さ	①在留・永住の手続きなど煩雑さ	②制度上の新規開発の遅延 ③クリコン産業は特に景気の浮き沈みが激しい			
制度・法的提案	①建築基準法の緩和、クリコン、エンタメ施設の容積緩和による整備の促進	②屋外広告物法の広告物の制限緩和による大型ビジョンの景観形成	②道路法の道路占用の緩和により、積層したイベント広場整備	②道路交通法の緩和・組織運営の仕組みの整備によるイベント開催の促進	①法人税等の減税による、インセンティブ 固定資産税減免によるクリコン企業の賃料負担軽減と連動等	②クリコン、エンタメ施設整備を都市計画における公共貢献への位置づけによる整備の促進	②建築基準法の緩和。クリコン、エンタメ施設への改修（用途変更）における確認申請の撤廃による整備の促進	①海外高度人材への在留・滞在に関するポイント制優遇による在留・永住の促進 料理人・ファッション産業専門業務者の就労ビザの緩和	②借地借家法における正当事由の明示による開発の促進	③特別償却を認めることによる、投資の呼び込み
詳細	<p>容積除外</p>  <p>エンタテインメントシテイ特区内における容積除外</p>    <p>※更に大規模開発と街中の小規模の施設を同時整備し集積を促進（施策：育成2-②参照）</p>	<p>世界への情報発信</p>  <p>ビジョンを一体的活用</p>  <p>更にスマートフォンや電車内映像と連携</p> <p>例 Times square ルール</p> <p>「広告設置〇〇㎡以上」という基準を設け積極的に広告整備</p>  <p>中層部では建物の接道長 0.3m毎に最低 5㎡の広告設置など</p>	<p>積層したイベント広場イメージ</p>  <p>体験型情報発信 オリンピックイベント 工事ヤード利用</p> <p>道路上に新たな広場整備</p> <p>ただし場所の不足により渋谷のポテンシャルを活かしきれていない</p> <p>民地 クリコン・エンタメ施設</p> <p>公共空間 屋外広告物緩和</p> <p>道路上イベント開催調整体制イメージ</p> <p>最終的なイベント開催の判断は警察署長によるが、協議会により調整や検討を行い、法的にも協議会の裁量を位置づける</p>  <p>協議会 地元住民・事業者等</p> <p>警察署長・公安委員会 安全性・公共性の有無判断</p> <p>イベント</p>	<p>減税による起業促進企業の誘致</p>  <p>固定資産税減免により予想される効果</p> <p>オフィス・クリコン・エンタメ施設 固定資産税減税</p> <p>賃料低下</p>  <p>ベンチャー等クリコン産業起業促進</p>	<p>街中の施設整備を公共貢献への位置づけ</p> <p>→街中に施設を整備（新規・改修も含む）、若手企業家・アーティストに貸出し。</p> <p>→開発事業者は新規開発時の公共貢献として、街中の施設整備費用の出資や施設のマネジメントを行う。</p>  <p>大規模開発</p> <p>公共貢献として施設整備支援マネジメント</p> <p>新規開発</p> <p>施設整備（新規・改修）</p> <p>若手アーティスト 若手クリエイター 企業家等</p> <p>クリコンエンタメ施設</p> <p>用途変更を伴う改修の確認申請の撤廃</p> <p>→用途変更を伴う改修時の確認申請を撤廃、手続きを簡略化することで、エンタメ・クリコン施設整備を促進する</p> <p>整備の促進</p> <p>エンタメ・クリコン施設イメージ</p>  <p>小ギャラリー 小劇場 交流ラウンジ</p> <p>若手企業家やアーティストが増加</p>	<p>特定エリア内、クリコン産業における外国人のポイントに関して更なる優遇措置</p> <p>エンタテインメント特区のエリア内</p>  <p>クリコン産業 IT関連の技術者・専門家 ポイント加算</p> <p>在留の手続きの簡素化促進</p> <p>例) 各国で高度人材在留促進</p> <p>下記各国の高度人材に関する滞在資格の種類 高い技能を持つ外国人を優遇米: H1-B (専門性の高い職業) 独: 高度専門技術保有者に対する定住許可 仏: 「才能と能力」資格の滞在許可書 世界の厚生 2010 より</p>	<p>借地借家法における正当事由の明文化</p> <p>現状</p>  <p>借家 借地</p> <p>まちづくりに寄与する場合、正当事由として認める</p> <p>整備後</p>  <p>新規開発 エンタメ施設</p> <p>早期に再開を促進し、周辺の街の活性化に寄与</p>	<p>特別償却</p> <p>クリコン関連企業 景気の浮き沈みが激しい</p> <p>短い期間で投資検討</p>  <p>クリコンエンタメ施設等</p> <p>例) 総合特区 特別償却限度額を取得価額の50% (建築等 25%)</p> <p>エンタテインメント特区内のクリコン産業関連企業は更なる償却限度額の緩和を認める</p>		